

平成 27 年度第 3 回知床世界自然遺産地域連絡会議

議事概要

平成 28 年 3 月 2 日 13:00 ～ 14:00

羅臼町商工会 2 階会議室

議案

1. 科学委員会からの報告
2. エゾシカ・ヒグマ等の対策について
3. 環境省、林野庁、北海道の実施事業報告
4. 第 39 回世界遺産委員会決議の対応方針について
5. 北海道知床世界自然遺産条例について
6. シンボルマーク部会からの報告
7. 平成 28 年度役員の選出
8. その他

●開会挨拶（地域連絡協議会長）

釧路自然環境事務所の西山でございます。本日はお忙しい中、平成27年度第3回知床世界自然遺産地域連絡会議にお集まり頂きましてありがとうございます。

今年度は遺産登録から10周年の年であり、記念式典や報告会の開催等、関係者の方々には大変お世話になりました。ありがとうございます。

今年度は、北海道知床世界自然遺産条例の策定の関係から変則的に3回の開催とさせて頂いております。条例については後程ご報告します。

また、科学委員会の報告、エゾシカ・ヒグマの対策、第39回世界遺産委員会の決議に対する対応等についてご報告させていただきます。

短い時間の会議となりますが、忌憚のない御意見・御助言を頂ければと思います。

本日もどうぞよろしくお願い致します。

●湊屋羅臼町長御挨拶

皆様、大変ご苦労様でございます。昨日からの悪天候の中、こうしてウトロからお越しを頂いております。ありがとうございます。

今般、道議会にも知床条例が上程をされました。新たな条例という一つの指針が出来たということで、皆様のご努力、北海道のご努力に対して感謝申し上げます。

この地域連絡会議の中で知床自然遺産の適正な管理のあり方、効果的な普及啓発の推進など多くの責務を、多くのことを決めて頂いており地元からも感謝を申し上げます。

おかげさまで自然遺産になってから丸10年。さまざまな方々にこの自然遺産というものを体験して頂いて、これを後世に伝えていくということも大切な責務でございます。

さまざまな議題・問題も抱えていますが、皆様でこの自然を保全して、管理していくという観点で協議を頂ければと思います。

地元羅臼町として皆様に歓迎を申し上げまして挨拶とさせていただきます。

議題 1. 科学委員会からの報告

■資料 1：科学委員会からの報告

…環境省、林野庁、北海道より説明。

- ✓ 科学委員会では現在、3つの WG、1つの AP が設置されている。
- ✓ エゾシカ・陸上生態系 WG では、第3期知床半島エゾシカ保護管理計画の見直しに係る検討が行われている。
- ✓ 海域 WG から根室海峡におけるロシアのトロール漁船によるスケトウダラ漁業除法の入手についての要望書が提案され、科学委員会によって了承された。

林野庁（三橋）

河川工作物 AP について補足させて頂く。今年度のダム改良等に伴うモニタリング結果について、羅臼川では改良したダム上流にシロザケの遡上個体を確認。また、改良前の検討段階のモセカルベツ川のモニタリングを実施。

ルシャ川については、世界遺産委員会から課題が出されており、課題に対応するためのダム改良に係る水理模型実験を行い、その報告を行っているところ。また、これまで 5 河川 13 基のダム改良を行ったところですが、現在、次のステージの第2次検討ダムの改良について、これまでの改良結果等を踏まえ検討を行っているところ。

北海道（村田）

海域 WG について補足させて頂く。来年度から第3期海域管理計画の検討を開始する旨を報告。

環境省（西山）

釧路自然環境事務所の立場でご報告。

先般、羅臼漁業協同組合から話をお聞きする機会があった。同漁協が懸念されている点は、この10年間でトドやロシアのトロール船の問題の状況の改善が見られないということ、管理者が認識しているのかという点、登録時に北海道と各漁協、また環境省と各漁協との間で調整のうえ交わした約束事を認識しているのかという点。特に、「了解なしには新たな規制は設けない」と約束した点について、例えばトドの採捕枠が切り分けられたのは「新たな規制」と呼ぶべきものではないのか、羅臼海域の漁場は北方領土との関係で事実上制限されているので、採捕枠を生息数だけで判断するのはおかしいのではないのか、など。また、羅臼に自然保護官事務所を置いている環境省はこういった地元の思いを汲み取って、漁業法を所管する北海道や水産庁にも伝えてほしいという話もあった。

これについて2月27日の海域WGの中で、環境省から登録時の約束についての認識については変わらない旨を説明し、水産庁からトドの採捕枠の考え方について改めて説明。知床財団で行っているトドの調査の状況もご報告頂き、環境省からは「日露生態系プログラム委員会」という枠組みも生かして調査を続けていきたい旨発言。最後に北海道、水産庁、羅臼町を交えた漁協との意見交換の場を設けることを提案、その方向で検討することになっている。多利用型総合的の海域管理計画が見直しの時期を迎えており、この見直しに当たっては、羅臼漁協他各漁協との調整が必要となってくることもあり、これらについて今回、海域WGで発言させて頂いた。

この地域連絡会議も農林漁業者や住民の方々を含む「地域」のご意見を直接伺う場でもあるので、本件について改めて報告させて頂いた。今後もこの地域連絡会議で有効に意見交換・情報交換をさせて頂きたい。

議題2. エゾシカ・ヒグマ等の対策について

■資料 2-1：平成 27 シカ年度 エゾシカ捕獲事業予定

・・・環境省、林野庁より説明。

■資料 2-2：平成 27 年度 斜里町・羅臼町のヒグマ対応状況について

・・・知床財団より説明。

■資料 2-3：第2期知床ヒグマ保護管理方針の検討について

・・・環境省より説明。

- ✓ 環境省では引き続き、知床岬地区、ルサ-相泊地区、幌別-岩尾別地区において個体数調整事業を実施。
- ✓ 北海道森林管理局では囲いワナによる捕獲を基本とし、シカ低密度化を図る。また民間活力を利用した囲いワナ捕獲(三段滝)も引き続き実施。
- ✓ 平成 27 年度のヒグマの目撃頭数は非常に多かった。この5年間でも H24 年度と並び目撃件数の多い年となった。
- ✓ 第2期知床半島ヒグマ保護管理方針策定に向けての検討を今年度から開始している。

質問・意見なし

議題 3. 環境省、林野庁、北海道の実施事業報告

■資料 3 : 平成 27 年度 環境省・林野庁・北海道事業の報告

…環境省より説明。

- ✓ 平成 27 年度に遺産地域の管理のために環境省・林野庁・北海道が実施を行う事業について報告を行った。

オホーツク総合振興局（沖野）

知床エコツーリズムのための自然情報提供システム構築事業について補足させて頂く。

試行的に 9 月 19 日から 21 日に実施。日本語と英語と中国語の外国語対応も試行的に行った。散策の前に知床自然センターの来場に対して事前レクチャーを行い、受講者は 923 名。ほとんどが日本人で外国語へのアクセスは少ない結果となった。課題としては、通信環境が脆弱だったためにダウンロードに長時間を要したので今後その点も踏まえて検討を行う予定。

議題 4. 第 39 回世界遺産委員会決議の対応方針について

■資料 4 : 第 39 回世界遺産委員会決議の対応方針について

…林野庁より説明。

- ✓ ルシヤ川の 3 つのダムについては、北海道において水理模型実験等を行い改良の検討を進めている。
- ✓ 保全状況報告を 2016 年 12 月 1 日までにユネスコ世界遺産センターへ提出を行う。

質問・意見なし

議題 5. 北海道知床世界自然遺産条例について

■資料 5-1：北海道知床世界自然遺産条例案の概要

…北海道より説明。

■資料 5-2：北海道知床世界自然遺産条例案

…北海道より説明。

- ✓ 条例の推進のため、北海道職員を知床（知床世界遺産センター）に駐在させる。
- ✓ 平成28年4月1日から施行される予定。
- ✓ 1月30日を世界自然遺産知床の日と定め、道民の理解の増進等を図る。

環境省（坂口）

平成28年度の北海道の予算案において、条例との関係でトピックがあればお聞かせ下さい。

北海道（村田）

知床の日前後に開催するシンポジウムの経費がある程度計上された。ただ十分な額ではないので、開催方法など工夫していきたい。また、開催に当たっては、皆様のご協力も得たいと考えており、その際は、宜しく願います。その他、地元には北海道職員を配置するための人件費が計上されている。職員の活動費については、知床の事業費として十分には確保できなかったため、生物多様性保全課の共通経費などで措置できるよう調整中である。

議題 6. シンボルマーク部会からの報告

■資料 6：平成 27 年度シンボルマーク使用申請許可状況等について

…環境省より説明。

環境省（西山）

シンボルマークの運用は「知床世界自然遺産シンボルマーク運用規定」に基づいているが、何年か運用する中で運用規定そのものを整理する必要があると感じているところ。また改めて提案させて頂きたい。

質問・意見なし

議題 7. 平成 28 年度役員を選出

■資料 7 : 知床世界自然遺産地域連絡会議 平成 28 年度役員名簿 (案)

…環境省より説明。

環境省 (西山)

役員について、現在「釧路自然環境事務所長」が会長を務めさせて頂いているところ。当方としては問題ないが、「地域連絡会議」としては「地域」により近い構成員 (町または道) が会長を務めた方がいいのでは、という意見も出始めているところ。平成28年度については案の通りとなるが、こういった体制が一番適切なのか、引き続き検討させて頂きたい。

質問・意見なし

以上